

画用紙その他サイズ

サイズの種類	サイズ(mm)
画用紙 四切り	392 × 542
画用紙 八切り	392 × 271
ラシャ紙 全判	788 × 1091
はがき	100 × 148
名刺	91 × 55
A3ノビ	328 × 453

印画紙サイズ

サイズの種類	サイズ(mm)
Eサイズ	82 × 114～117
Lサイズ	89 × 127
2Lサイズ	127 × 178
6つ切	203 × 254
4つ切	254 × 305
半切	356 × 432
全紙	457 × 560

なるほど用紙サイズ日本の歴史

江戸時代に徳川将軍家と御三家の御用紙だった美濃紙がルーツで、美濃紙の半分のサイズ（半紙）がほぼB4判となっています。

明治政府が公文書は江戸時代の美濃紙（B判）サイズを引き継ぎ、戦後も日本工業規格（JIS）が「帳簿類の寸法はB判を原則とする」と定めていたことながら、80年代までは国の文書の9割がB判でした。

長い間B判の使用を原則としてきましたが、92年11月の各省庁事務連絡会議の申合わせ「行政文書の用紙規格のA判化に係る実施方針について」に基づき、93年4月から行政文書のA判化を計画的に推進し、97年には行政文書の100%がA判化したとしています。